

およそ年に2回程度実施している。

連携先機関名	役割分担
交通安全協会	・高齢者対象の交通安全の出前講座を開催
警察署	・高齢者対象の交通安全の出前講座を開催

(4) 事業体制

当該事業予算	—
本事業担当職員数	3人

注) 出前講座については、町の職員が対応しており、予算の支出は特にない。

注) 所管の安全安心係は3名体制である。防災と防犯・交通安全対策を担っており、出前講座は嘱託の職員が主担当となっている。

2. 取組の成果・効果

(1) 実績

・26年度の出前講座の実績は、以下の通りである。

6月開催分：2回	・ひばりが丘二区公民館 10:30~12:00 (25名) ・平成区公民館 10:00~11:00 (50名)
7月開催分：5回	・柳原区公民館 10:00~11:30 (20名) ・桜原区公民館 10:00~11:30 (30名) ・宇美東区公民館 10:00~11:30 (20名) ・黒穂区公民館 10:00~11:30 (50名) ・中央公民館 13:00~14:30 (20名)
8月開催分：1回	・林崎区公民館 10:00~11:30 (20名)
9月開催分：1回	・井野公民館 10:00~11:30 (30名)
11月開催分：1回	・飛岳二区公民館 10:00~11:50 (20名)

(2) 成果

・参加者の交通安全に対する意識が高まった。身体的特徴(視力・聴力・反応時間・平衡感覚の衰え)を再認識したとのことであった。

3. 取組における課題・留意点と工夫点

(1) 課題・留意点

- ・高齢者を対象としているため、講座はあまり長時間にならないようにしている。腰や足が悪く長時間座っていることが困難である高齢者も多い。本年は椅子・テーブルを使用した。
- ・引きこもりの高齢者に参加してもらうことは難しい。ただし、老人会等の依頼を受けて出前講座を開催しているため、役場が直接参加者集めをしているわけではない。老人会等の地域コミュニティに属していない高齢者には、出前講座に参加してもらえていない。どうしても人づきあいを避ける高齢者はいる。

(2) 取組における工夫点

- ・出前講座においては、参加者の関心を惹くように心がけている。一方的に説明するのではなく、対話形式としている。後で質疑応答の時間を設けても参加者が質問内容を忘れてしまうので、気になることがあったら、その場で質問してもらうようにしている。
- ・高齢者を常に気遣うようにしている。「まだ大丈夫ですか？」等と声掛けしながら、講座を進行している。参加者の様子を見ながら、終了時間を調整するようにしている。
- ・講座参加者が増えることを狙って、講座の最後にお楽しみ（講師となる嘱託職員が得意な手品等）の時間をとることを、申込み団体の代表者を通じて周知させている。
- ・「みるみるウォーク」は、本来は子どもの交通をボランティアが見守るという活動であるが、約200人の会員のうち、9割以上が65歳以上の高齢者であるため、年に1度3月に研修会を開催する際に、高齢者に対する交通安全の講話も行っている。
- ・高齢者の交通死亡事故の概要、町内における交通事故発生状況等の資料を手作りして配布している。

(3) 今後の課題・展望

- ・出前講座は継続して実施していきたいと考えている。希望に応じて実施するものなので、新たなニーズが出てくれば、それに対応していきたい。高齢者のドライバー等に関するニーズが今後増えていくものと想定している。
- ・町内の交通事故件数の推移は以下のとおり。

	平成24年	平成25年	平成26年
交通事故件数	185件	190件	175件
うち高齢者が関係した交通事故件数	37件	49件	55件
高齢者傷者（参考）	18人	40人	32人

